

教育大綱の策定にあたり

愛荘町長 有 村 国 知

私たちが大切にしている日々の暮らし、そして私たちが生きる社会は実に多くの要素から構成されています。人は一人では生きていけませんし、社会の中で自分の位置付けを持ち、また自らも社会を構成する一員として社会に貢献することを期待されています。

それは、現代を生きる私たちのみにその期待や使命が課せられている、ということではありません。生き物としての人類が幾代にもわたりその生存可能性を高めようと努力をしてきた結果、衣類や風雨をしのげる家屋、今日の医療やテクノロジー、食品や経済、安心して暮らせる地域コミュニティや国際化、そして教育や文化、またユーモアなどを人類の成果として享受しています。人としてこの世に生を受けたからには、生の喜びや痛みを通し人格を成熟させ、願わくば次代に、よりよい形でそのタスキをつなぐということが、私たちの崇高な命の営みの意味の一つであると存じます。

私たちは、アフリカ大陸でも、アメリカでもチベットでもなく、日本の愛荘町に奇跡の結果として現在生を受けています。先人より連綿と受け継がれてきたこの愛荘町に根差す文化や温かさ、誇りというものを継ぐ者として、それを味わい体現し高めていくことが、私達一人一人に出来ることだと考えています。そして、その行いが町の未来につながっていきます。

社会における多様性が広がり、均質な物差しで人生を計れない時代、各人が自らの人生をよりよく生きていくために、主体的な能力の発揮が益々必要となっています。人生のそれぞれのステージにおいて学問的、社会的、文化的な面から継続的な学びが求められています。

誰かが何とかしてくれる、という依存の精神のもとに社会を捉えるのではなく、各人が自主自立のもとに、社会を捉え、助けを必要とする人があれば、他者の重荷をも背負っていける心身ともに強靱で笑顔の多い魅力的な人生を構築して頂きたいと心から願っています。

「意志あるところに道は開ける」という言葉があります。様々な機会の確保、向上に愛荘町として取り組み、整備をしてきています。「未来を担う子が立派に育ちますように」という社会が普遍的に抱く純粋な想いも含め、教育、学術、文化に向けて、先人が注いでこられた尊い情熱、そしてバトンの中継走者としての私たちの使命にもあらためて思いをいたしています。

こうした考えのもとに、今般新たな愛荘町教育大綱を策定致しました。基本方針「人が輝き 人が育つ 未来を拓く愛荘の教育」の実現に向けて皆さまとともに教育行政への取り組みを進めてまいりたいと存じます。